

令和7年度 第1回 上里町上下水道事業審議会 会議録

1 会議の日時及び場所

- (1) 日時：令和7年8月6日（水） 午後13時30分から  
 (2) 場所：上里町役場3階 教育委員会・行政委員会室

2 出席した委員の氏名

1号委員 町議会の議員	2号委員 水道の使用者	3号委員 識見を有する者
飯塚 賢治	木村 芳雄	丸木 貴裕
金子 義則	横田 増江	山岸 知彦
石井 慎也	片倉 す寿子	鷺野 浩介
伊藤 覚	石川 敏幸	
	竹内 広幸	
	高林 美江子	
	小杉 さおり	

3 欠席した委員の氏名

1号委員 町議会の議員	2号委員 水道の使用者	3号委員 識見を有する者
—	—	—

4 議題等及び公開又は非公開の別

(1) 議題

(1) アンケートの素案について (2) 今後のスケジュールについて	公開
---------------------------------------	----

(2) 報告事項

—	—
---	---

5 傍聴者数

なし

6 賛否の数

※議案なし

7 事務局

5名

職名	氏名
課長	飯島 博
課長補佐	高橋 文子
係長	荒井 純一
主任	横堀 俊輔
技士補	竹内 浩将

8 問合せ先

上里町 上下水道課

〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木 5518 番地 電話：0495-33-4146

[午後 1 時 30 分 開会]

<p>1 開 会 ○事務局</p>	<p>定刻となりましたので、ただいまより「令和 7 年度第 1 回上里町上下水道事業審議会」を開催致します。</p> <p>本日はご多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。本日の司会進行を務めさせていただきます、事務局の上里町上下水道課の高橋です。よろしくお願い致します。</p> <p>なお、本日は会議録作成のため、会議内容を録音しておりますのでご了承のほどお願い致します。</p>
<p>2 あいさつ ○事務局</p>	<p>まず初めに、山下町長からご挨拶をいただきたいと思います。</p>
<p>○町長</p>	<p>改めまして、皆さまこんにちは。ご紹介いただきました上里町長の山下博一でございます。</p> <p>挨拶の前に、昨日、この地域の近隣の伊勢崎市で 41.8 度という今までの記録にない高温になっており、大変憂慮しているところでありまして、今日も 40 度越えになって、熱中症とか、ぜひ皆さまも気をつけていただきたければ思っております。</p> <p>また、昨日夕方に三田地区で約 900 戸の東京電力の電力切り替えの関係で 1 時間ほど停電がありました。何が起きるか分かりませんが、こういう高温状態で皆さまに健康管理をぜひ気を付けていただければありがたいと思います。</p> <p>では改めまして、私からの挨拶をさせていただきます。本日は大変お忙しい中、上里町上下水道事業審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、この度は上里町上下水道審議会委員をお引き受けいただきましたこと改めて感謝を申し上げさせていただきます。</p> <p>さて、委員の皆様はご承知の通り、上水道施設は住民生活や社会経済環境に欠くことのできないライフラインでございます。しかしながら、現在の水道を取り巻く環境は、人口減少による収益の減少や老朽化する水道施設の更新に多額の費用を要するなど、多くの課題が山積している状況であります。上里町水道事業では、将来にわたって安定して水を供給するため、令和 5 年度から令和 9 年度までの 5 箇年事業としまして、事業費として約 15 億円を投じ老朽化対策に伴う浄水場の主要な設備の更新事業に取り組んでおります</p> <p>この審議会におきましては、上水道施設全体の老朽化対策、</p>

	<p>水質管理の徹底、災害対策、そして、将来見据えた水道料金のあり方など多岐にわたる課題について、委員の皆さまから専門的な知識や経験からご意見をいただき、第二期の上里町水道ビジョンを策定することを目指していきます。</p> <p>本日の審議会は日常水道を利用する皆さまのご知見、ご意見をお伺いし、計画に反映するために実施するアンケートの素案についてご審議いただきますようお願い申し上げます。町としても、安心安全な水道を供給することで努力しているところがございます。</p> <p>今後とも委員の皆さまに置かれましては、各分野から上里町水道事業に対しご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。そして、本審議会が上里町水道事業の発展に大きく貢献する有意義なものとなることを御祈念申しまして、私からの挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
○事務局	<p>ありがとうございます。続きまして、委嘱状の交付を行います。本来でしたら、全員にお一人ずつ委嘱状をお渡しすべきところですが、時間の都合がございますので、名簿順で1番目の「飯塚賢治」様に代表で交付させていただきます。それでは、委嘱状の交付を行いますので、山下町長よりよろしくお願い致します。</p>
○町長	<p>※山下町長から委嘱状を交付</p>
3 委嘱状の交付	
○事務局	<p>ありがとうございます。他の委員の皆様におかれましては、委嘱状を配布させていただいておりますので、ご確認のほどよろしくお願い致します。</p>
4 自己紹介	
○事務局	<p>続きまして、本日は、委員の皆様のお顔合わせとなりますので、最初に自己紹介をお願いしたいと思います。名簿の順で、飯塚委員からお願い致します。</p>
○各委員	<p>※名簿順で自己紹介</p>
○事務局	<p>ありがとうございます。次に事務局を紹介します。</p>

○事務局	※事務局の紹介
○事務局	本日、委託業者の東洋設計事務所の社員2名が同席しておりますので、併せてご了承のほどお願い致します。本日は15名の委員中15名の出席となります。したがって、上里町上下水道事業審議会条例第5条第2項の規定により、委員の過半数が出席しておりますので、本日の会議は成立しますことをご報告致します。
5 上里町上下水道事業審議会会長及び副会長の互選	
○事務局	続きまして、次第「5 上里町上下水道事業審議会会長及び副会長の互選」に移らせていただきます。会長及び副会長については、上里町上下水道事業審議会条例第4条第1項の規定により、委員の互選により決定することとなっております。選出方法などにつきまして、委員の皆様から提案等がございますか。
○各委員	※「事務局一任」の声あり
○事務局	ただいま「事務局一任」の声がありましたが、事務局から提案をさせていただいてよろしいでしょうか。
○各委員	※「異議なし」の声あり
○事務局	事務局の提案は、会長に区長会長の竹内委員にお願いをしたいと考えますが、よろしいでしょうか。
○竹内委員	【承諾】
○事務局	次に、副会長に商工会長の木村委員にお願いをしたいと考えますが、よろしいでしょうか。
○木村委員	【承諾】
○事務局	それでは、最初に竹内会長より就任のご挨拶をいただきたいと思っております。竹内会長、お願い致します。

○会長	<p>この度、上里町上下水道事業運営審議会の会長となりました竹内でございます。どうぞよろしく申し上げます。会長として一言ご挨拶申し上げます。水道事業は人々の生活、まず我々の生活の基盤でありまして、我々の生活に全く密着しているものであり、大変重要な事業であります。委員の皆さまから忌憚のないご意見をいただきまして、審議会としての答申をまとめていきたいと考えておりますので、各委員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。ご協力お願いを申し上げて挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。</p>
○事務局	<p>ありがとうございました。続きまして、木村副会長より就任のご挨拶をいただきたいと思います。木村副会長、お願い致します。</p>
○副会長	<p>皆さま、改めましてこんにちは。ただ今、副会長を仰せつかりました商工会の木村です。大変微力ではございますが、竹内会長を補佐させていただいて、水道事業の安定を図れればと考えておりますので、これに尽力してまいりたいと考えておりますので、皆さま方のご協力、よろしくお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。</p>
6 諮問	
○事務局	<p>ありがとうございました。続きまして、次第「6 諮問」に移らせていただきます。町長より審議会長へ、諮問書をお渡し致します。</p>
○町長	<p>※山下町長より諮問書を読み上げ、会長へ渡す</p>
○事務局	<p>他の委員の皆様におかれましては、諮問書の写しを配布させていただいておりますので、ご確認のほどお願い致します。なお、山下町長につきましては、公務のためここで退席させていただきます。</p> <p>※山下町長、退席  ※竹内会長、会長席へ移動、木村副会長、副会長席へ移動</p>
○事務局	<p>審議に入ります前に、本日の資料を確認させていただきます</p>

	<p>す。</p> <p>会議資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・上里町上下水道事業審議会名簿</li> <li>・委嘱状</li> <li>・上里町上下水道事業審議会条例</li> <li>・諮問書</li> <li>・上里町水道事業の概要</li> <li>・水道利用者アンケート調査票</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
○事務局	<p>資料の過不足等がございましたら、挙手にてお知らせください。</p>
○事務局	<p>それでは、これより先の議事の進行につきましては、竹内会長にお願い致します。</p>
7. 議 題	
○会長	<p>上里町上下水道事業審議会条例の規定により、会長を務めさせていただきます。審議に当たっては、慎重かつスムーズに進められるようご協力をお願い致します。</p> <p>それでは議事に入りたいと思います。</p> <p>(1) アンケートの素案について 事務局から説明をお願いします。</p>
○事務局	<p>※事務局 説明</p>
○会長	<p>ただいまの説明について、委員の皆様からご意見やご質問などございますか。質疑のある方は、順次発言をお願い致します。</p>
○飯塚委員	<p>3点ほど質問がありますが、1問ずつお答えいただく形でしょうか。それとも、まとめて質問してからまとめて回答いただく形になりますか。</p>
○事務局	<p>よろしければ、1問ずつの質疑応答でお願い致します。</p>
○飯塚委員	<p>アンケート2ページの間2・間3についてですが、過去5年間に設置された節水型機器と、今後の導入予定についての質問</p>

	<p>です。これらの回答を集計することで、どの程度の節水が可能か把握できるのでしょうか。お教えてください。</p>
○会長	<p>アンケート結果を活用して、どの程度の節水が可能かということが分かるのか、というご質問ですね。</p>
○事務局	<p>ご質問ありがとうございます。節水効果については、機器の種類やメーカーによって異なるため、具体的な節水量の試算は行っておりません。この設問の目的は、人口減少による自然な減水に加え、節水意識の高まりによる機器導入が給水量減少の一因と考えられるため、これまでに給水量が下がってきた原因と、今後の給水収益を見込むために、利用者の節水意識や導入予定を把握することにあります。</p>
○飯塚委員	<p>そちらが目的ということですね。</p>
○事務局	<p>はい、その通りです。</p>
○飯塚委員	<p>はい、ありがとうございました。次に、問7についてですが、約175億円という試算は令和2年時点ですので、現在はもっと高い金額になっている可能性があります。そのような中で、例えば「水道の料金を値上げして、水道管の更新を積極的に進める」というものであれば、ほどよい料金設定をしてこちらのほうに補填をすることはできると思います。更新が急務とされる口径50mm以上・60年以上経過した管について、どの程度のペースで更新を進める予定でしょうか。今現在、老朽している管はどのくらいあり、どのくらい予算的には必要なのか。早急に更新が必要というものが分かれば教えてください。</p>
○小杉委員	<p>似たような質問なのですが、何年かかるのか、年次計画があるのか知りたいです。</p>
○事務局	<p>ありがとうございます。順番にお答えさせていただきます。水道管の延長については、今回の水道ビジョンの中で試算を進めております。参考までに全体延長は約224km、そのうち約90kmが耐用年数40年を超えており、老朽割合は約40%です。175億円を一度に投入するのは現実的ではないため、水道ビジョン終了後に老朽管更新計画を立てる予定でございます。現在</p>

	<p>の老朽管対策についてですが、上里町では町の簡易水道組合を統合したこともありながら、町営の他に地域で行っている組合水道が 14 ありました。そちらと町営の 3 つの簡易水道組合が合併いたしました。そのような経緯があり、元々の簡易水道の区域で民有地を横断している管が多く存在し、利用者の土地利用の制限を狭めているため、解消すべく計画を立てております。計画は約 7.7km あり、今現在は約 3.5km 解消しており、順次予算を計上して民地管の廃止をしているという状況です。</p>
○小杉委員	<p>今の質問の内容に関係する内容でしたので、一緒に質問させていただきます。アンケートで「175 億円」とだけ記載されると、住民が驚いてしまう可能性があります。何年かけての金額なのかを記載したほうが理解が得られるのではないのでしょうか。水道ビジョンを進めながら詳細を詰めていくというようなお話を先ほどされていたので、アンケートに（具体的な年数）は載らないのかと思いましたが、できれば載せたほうが落ち着いてアンケートに答えられるのではないかと思います。</p>
○会長	<p>175 億円という表現があまりにも高額で、違う表現にしたほうがよい、というご提案でしょうか。</p>
○小杉委員	<p>それもそうですし、単純に年数がどのくらいなのだろうということもありました。</p>
○事務局	<p>まず、175 億円の試算は令和 2 年の時点なのですが、60 年経過する口径 50mm 以上の管を洗い出し、金額を出したものです。この 175 億円は議会の質問を受けた中でもお答えしていますし、ホームページ上でも掲載しており、すでに公表済でございます。初めて見る方は驚かれるかもしれませんが、これだけの費用が掛かるということは、ご判断いただこうという狙いもございました。</p>
○小杉委員	<p>すみませんでした、利用者の方は 175 億円という数字に驚いてしまうかと思い、質問させていただきました。</p>
○事務局	<p>補足ですが、例えば今後の料金値上げを、175 億円すべて更新工事を行う条件で試算をしますと、結構な値上げとなってしまい、それは現実的ではございません。175 億円の内訳、例え</p>

	<p>ば管についての様々な条件の中で、色々な条件で布設されているものがありますが、古いけど耐震化がされていたり、新しいけど耐震化が出来ていなかったり、地盤の良いところ、悪いところに布設してあるなど様々な条件ごとに管が入っています。各条件を見極めながら絞り込んで、一度に更新ではなく、根拠を持った取捨選択をもって計画を立てる必要があると思っております。ただ、上里町はこれだけの老朽管があり、最終的にはすべて更新をするわけですので、これだけは費用はかかりますという形で出した数字でございます。</p>
○会長	<p>すでにこの数字自体、公知された数字であるということですね。</p>
○事務局	<p>はい。</p>
○会長	<p>もうひとつは、アンケートなので細かい根拠などはここでは提示はしないということですよ。そちらでいかがでしょうか。</p>
○各委員	<p>※「それでいいと思います」の声あり</p>
○会長	<p>では、そういう形でよろしいですかね。では、3つ目の質問をお願いします。</p>
○飯塚委員	<p>問8についてですが、この11ブロックという内容は分かっておりますが、今後広域化を目指していくべきかと問いているわけですが、例えば、各市町のこれから行われなければならない更新作業、更新が必要な水道管がたくさん残ってしまっているところと、一所懸命に（更新を）頑張っているところとのバランスが取れるものなのかどうか、そういったところで広域化というものは可能性があるのかどうかというところを教えてください。</p>
○事務局	<p>ご質問ありがとうございます。実際は、各団体・市町の条件につきましては広域化の会議が定期的にありますので、まず情報の共有、お互いの資産やどの程度の老朽管があるかというのは共有しなければならないと思っています。そういった中で、優先すべきところを見極めながら進めていく必要があるか</p>

<p>○飯塚委員</p>	<p>と思います。</p> <p>ちょっとそれが分からないのですが、広域化を進めて行くべきかということ、町民の皆さまに問っているわけですが、進めて行くか行かないかは、これだけを聞かされただけでは町民の方は分からないと思います。例えば、もう少し水道事業的に楽になるのか、それとも他の市町が抱えている大変な部分を我々が背負うことになって、かえって厳しくなるのか、そういったところが全く分からないわけです。それなのに、「進めていいのかどうか」を町民に問う理由はどこにあるのでしょうか。その点を教えていただきたいです。</p>
<p>○会長</p>	<p>今のご質問は下に記載のある「影響」の部分に、必ずしも反映されていないのではないかと、という点かと思えます。他地域との違いは、広域化によって統一されることで、今後顕在化してくる可能性がある。そのことが現時点で予見できていないというのが、先ほどの事務局のご説明だったと思うのですが、それについてはいかがでしょうか。</p>
<p>○事務局</p>	<p>ご質問ありがとうございます。広域化につきましては、事務局で想定される影響について、こちらに列挙しております。ただ、利用者の皆さまがこの資料をご覧になった際に、広域化についての判断がなかなかしづらいという点は、確かにあると思います。「影響」という形で少し抽象的な書き方になっておりますが、具体的に踏み込んだ記載ができるかということ、現時点ではそこまで検討が進んでいない状況です。本来であれば、11ブロック内での検討がもう少し進んでいればよかったです。現在の進捗としては、水道メーターの共同購入などの検討は行っているものの、具体的な結果はまだ出ていない段階です。そういった状況の中で、今回の資料の記載内容については、このような形になっております。</p>
<p>○会長</p>	<p>石井さんはよろしいですか。</p>
<p>○石井委員</p>	<p>本当に難しい問題だとは思いますが、ぱっと見たときに、利用者が受ける影響としてマイナス面ばかりが目立っているように感じます。「コストが削減されます」と言われても、利用者にとっては「利用料金が下がります」と言われたほうが、い</p>

	<p>いわけですよ。安全性の向上については確かに一つのメリットとして理解できますが、「経営状況の安定化」と言われても、利用者からすれば「それが自分たちにどう関係するのか」という疑問が残るのではないのでしょうか。例えば「経営状況の安定化」というと、具体的にどのような影響があるのか、そういった点が示されるとより納得感が得られると思います。「技術力の高い職員の確保」というところの影響が、利用者に対してどう受けるのかという話になったときに、そうした職員がいることで工事の復旧期間が短縮されたり、漏水が早期に発見できるなど、そのような書き方にしていけないと利用者はわからないと思います。現状では、事務局サイドの影響というものは多く出ている印象ですので、住民サービスの低下、災害や緊急時対応の遅れ、料金見直しと言われると、利用者からするとマイナス面ばかりが強調されているように見えてしまうのではないのでしょうか。そのため、もう少し利用者に対しての「影響」、利用者に対して「こういうメリット、こういうデメリットがあるのではないのでしょうか」という書き方のほうが分かりやすくなると思ったのですが、その点はいかがでしょうか。</p>
○会長	事務局いかがでしょう。
○事務局	<p>ありがとうございます。我々もこの設問に関しては悩むところではありました。今ご意見承りまして、利用者目線に重点を置いた中での「影響」を具体的にできるものに関しては、具体化して行こうと思っています。どこまで落とし込めるかというのは、今この場では中々でないものですから、また事務局で検討させていただきます。</p>
○会長	<p>ありがとうございます。今の石井委員のご質問に対しては、具体的な内容としてはここでは回答はできないけれども、その方向性で事務局のほうで検討していただけるということだと思います。よろしいですか。</p>
○石井委員	はい。
○会長	他にご質問ある方。
○鷺野委員	はい、関連の質問になります。問9のところを見て、今のご

	<p>意見でこの構成自体が変わってしまうかもしれませんが、一番下に書いてある「影響」のところで、恐らく左がメリットで右がデメリットだと思いますが、右側の住民サービスの低下（窓口の削減・遠距離化）というものは、必ずしもそうなるわけではないと思います。逆にサービスが良くなることもあるかと。災害時緊急対応の遅れも、必ずしも遅れるわけではないと思います。他の市町と一緒にすることで、技術職員を効率的に配置することはできる、そうすると対応は早くなるということが一般的に広域化のメリットとして言われていることでもあります。したがって、この書き方ではミスリードになってしまいかねないため、表現を変えたほうが良いと思います。それが先ほどのようなご意見があった住民目線の共感にも繋がってくるかと思しますので、もう少し工夫して表現したほうが良いかもしれません。</p>
○会長	はい。いかがでしょう。
○事務局	ご意見ありがとうございます。再度検討をしたいと思えます。
○会長	そういったことも含めて、また検討をしていきたいということですね。他にご意見、ご質問ありますでしょうか。
○山岸委員	<p>問1の節水器具というところで、事務局からのお話で、節水器具の使用により、水道使用量が下がってくるのではないかと、いうことを趣旨に問1、2、3という質問をされているということだったのですが、趣旨がずれるかもしれないのですが、水道使用量が下がる要因として、水道水を直接飲むのではなく、ミネラルウォーターなど飲料水を購入している人がいると思います。それが節水となるかは分かりませんが、「ミネラルウォーター等飲み水の購入をしていますか」というような質問を入れるのも使用量を減らしている要因のヒントになるかと思ひ、参考までにご提案させていただきました。</p>
○会長	ありがとうございます。事務局、いかがでしょうか。
○事務局	ご意見ありがとうございます。ご意見の通り、選択肢の中に入れ込むように再検討したいと思います。

○会長	ありがとうございました。他にご質問ありますでしょうか。
○鷺野委員	全般的な話になりますが、前回の平成 26 年のアンケートをホームページで見ってみました。項目が水質関係や広報の関係だったりもう少し幅広がったのですが、今回は結構絞ってあり、新しく広域化のことが入っていたりするのですが、そのことについて、何か狙いがあれば教えてください。
○会長	いかがでしょうか。
○事務局	前は 10 年前にアンケートを実施いたしました。その中では、水質に関することや災害に関するなどが含まれていました。今回、それらを省いた理由は、水質については、上里町ではそれほど苦情が多くなく、すでに水質の課題は把握しており、改めて聞かなくてもよいと判断しました。もちろん、水質は基準内であり、安全に飲用できる状態です。災害に関しても同じように、「どういった周知をするのか」などは、前回のアンケートで既に確認済みですので、今回は特に省いたということになります。新たに追加した項目としては、今後給水人口が減少していく中で、上里町単独では対応が難しくなるだろうという危機感から、「広域化」という項目を新たに追加いたしました。
○会長	よろしいでしょうか。
○鷺野委員	もし分かれば参考に教えて欲しいのですが、前回のアンケートは何人を対象にして配り、回収率は何%だったのか。今回 2,000 人を対象にするということなのですが、どのくらいを見込んでいるのかが知りたいです。
○事務局	前回のアンケートと今回のアンケートの条件は同じです。18 歳以上の方で 2,000 人を対象としています。抽出の方法は無作為抽出でございます。前回の回答率は約 46%となっておりますので、前回の設問の数よりも今回は削り、回答者の負担軽減を考えて少なくしました。この回答率 46%というのは、なかなか行政の調査では高い方だと思っておりますので、まずはこの回答率を目指したいと考えております。

○会長	はい、ありがとうございます。他にご質問はございますか。
○石井委員	「Ⅲ. 料金について」のところでお伺いします。問5の「上里町の水道料金についてどのように思いますか」という問ですが、利用者の方々が普段から感じていることをアンケートとして回答いただきたいのでしょうか。この表をそのまま載せてしまうと、「表を見て判断してほしい」という感じにも見えますので、どちらの方の消費者の考え方というものを汲もうとしてのアンケートなのか、その辺をお聞きしたいのですけれど。
○会長	事務局、いかがでしょうか。この表を見て判断してほしいということなのか、普段からどのように思っているのかを聞きたいのか、どちらを狙って聞かれているのかというご質問だと思います。
○事務局	ご質問ありがとうございます。結論から言うと、両方と言いますか、こちらの表を参考に普段の利用状況を鑑みて答えていただければ、というところを捉えたいと思っております。
○石井委員	ただ、この表を載せてしまうと、「上里町は高くないよね」とか、「本庄はちょっと安いけど、他から見ればまあいいのかな」というように、大体の人が思ってしまうと感じました。普段から感じている利用者の方々の直接の声を反映するのであれば、この表は上里町の料金だけを載せて、近隣の事業体の料金は載せない方がいいのかなというように個人的には思います。実際、アンケートの中で「料金がすごく高い」と皆さんが思ったとしても、その次に「これだけ老朽管をやる（更新する）にはお金がかかりますよ」と説明があれば、「それなら仕方ないね」と思ってくれるのか。そのあたりをどう汲むかによっては、近隣の料金を載せてしまうことで、ある程度こうなっていくってしまうようなアンケートになってしまうのではないかと、少し危惧しています。その辺はどうお考えですか。
○会長	事務局、いかがでしょう。
○事務局	ご質問ありがとうございます。おっしゃる通り、この表をご覧になると、資料の順位から「上里は安いのかな」と感じる方

	<p>もいらっしやると思います。参考として近隣の自治体の情報も含まれているため、そう見えるのかもしれませんが。特に誘導するつもりはないのですが、アンケートを記入する際の参考として、近隣の情報も載せた方がよいのではないかと考え、今回掲載しました。ただ、もし本当に今の生活の中で、上里町の水道料金が地域と比べて高いのか安いのかという聞き方もあるかと思っています。重複しますが、近隣の自治体の情報を参考に、その中で自分のライフスタイルや経済状況も踏まえてどうなのかというように判断してもらえればと思っていたのですが。こちらをもし書き換えたほうがよいのであれば、上里町の料金だけを提示し、近隣の料金はあえて伏せておくというのはいかがでしょうか。</p>
○会長	<p>高いとか安いって比較ですよ。比較ということは基準があるわけですよ。基準のないところで高い安いの議論はできないような気がしますけど。</p>
○副会長	<p>事務局にお尋ねしますが、料金の設定について、各自治体によって、状況や利用料などが違うじゃないですか。それで料金の設定が決まってくるので、あまり比較にはならないかなと思うのですが。</p>
○小杉委員	<p>自分も、あくまで個人的な話ですが、この表は見たい方です。「どう思うか」と聞かれても、それこそ会長がおっしゃったように、基準が分からないので、「じゃあ他所はどうなのだろう」と気になると思います。ですので、例えば「QRコードで見てください」とか、「見たい方はQRコードからご覧ください」といった伏せ方もできるのかなと。単に載せるのではなくて、「よろしければご覧ください」といった形にする方法もあるのかなと思います。「実感として答えたい」と思う方は、伏せられている部分は見ないでしょうから、そういう選択肢のような形にした方がいいのかなと思います。</p>
○石井委員	<p>先ほど「比較するには何か対象が必要だ」という点について、会長さんがおっしゃった通りだと思います。「料金をどのように思いますか」という問いに対しても、それが他の自治体との料金を比較して、上里町の料金をどう感じるのかという意味なのか、あるいは、自分の家庭の中での水道料金を高いと感じて</p>

	<p>いるのか、安いと感じているのかという、家庭内での水道料金の位置づけとしての比較なのか。どちらの視点で答えて欲しいのかによって、問の受け止め方が変わってくると思います。おそらく、小杉さんがおっしゃったのは、他の事業体との比較をした上で回答したい、ということなのかなと感じています。一方で、私自身が最初に思ったのは、家庭の中での水道料金が高いのか安いのか、今の生活の中でその料金が妥当なのかどうか、という視点でした。ですので、先ほど会長さんがおっしゃったように、「比較する対象をどこに置くのか」「どういう答えを求めているのか」、その点が大事なのかというように思います。他市自治体との比較をしてほしいというような質問の意図であれば、これで問題ないと思います。ただ、家庭の中で水道料金をどのように負担に感じているのか、という点を聞きたいのかどうか、という話にもなってくると思います。そのあたりの意図を整理していただければと思います。</p>
<p>○伊藤委員</p>	<p>石井委員のおっしゃる通り、家庭の中でどうなのか、負担がどうなっているのかを考えるのであれば、無作為抽出では実際に支払っている人でなければ、家庭内での負担の影響は分からないと思います。無作為抽出の中で回答を得て、他の市町村の金額と比較するというのであれば、それでも良いかと思えます。ただ、石井委員のおっしゃるように、家庭での負担感を把握したいのであれば、対象者の方に直接送付して、その部分を調べるという方法も必要ではないかと思えます。</p>
<p>○鷲野委員</p>	<p>前回のアンケートでは、実は同じような質問がありました。最初に「料金が高いか安い」を尋ね、その後に「高いと考える理由を選んでください」という形式でした。理由の選択肢には、「八町村の水道料金との比較」や「電気料金・ガス料金との比較」、「家計に占める水道料金の割合」などが含まれていました。そのため、最初は特に比較対象を設定せずに「高いか安い」を聞き、その後に理由を尋ねるという、前回のやり方も一つの方法として考えられるのではないかと思いました。</p>
<p>○事務局</p>	<p>こちらの狙いとしては、やはり家庭の中で水道料金がどの程度の負担感として捉えられているかという点と、他の自治体との比較において水道料金が高いか安いという点の、2つの観点を伺いたいと考えています。そのため、この2項目が把握で</p>

	<p>きるように、質問内容を変更したいと思います。</p>
○会長	<p>具体的な感覚から段々と深掘りしていく、そういった構成のアンケートにしていきたい、ということでしょうか。</p>
○事務局	<p>はい。</p>
○会長	<p>ということによろしいでしょうか。他にご質問やご意見はございますか。</p>
○石川委員	<p>4 ページ目の先ほどの質問と重なる部分があるのですが、問 5-1 で「高いと考える理由を選んでください」となっていますよね。この項目について、「安い」と回答した人が答えても問題ないのではないかと、少し気になりました。特に「高い」と指定しているのは、何か意図があるのでしょうか。</p>
○会長	<p>事務局、いかがでしょう。</p>
○石川委員	<p>「高い」という文言をあえて付けなくてもいいのかな、という単純な疑問だったのですが、いかがでしょう。</p>
○会長	<p>それぞれの回答について、「何を根拠に回答されたのか」を尋ねる形にすればよいのでは、ということですけど。 事務局としてはいかがでしょうか。</p>
○事務局	<p>ご質問はあえてこのように理由を聞くのではなく、記述式のような形で「高い」「やや高い」理由を書いてもらうような形にするということでしょうか。</p>
○会長	<p>記述回答ということではなくて、「高い」ことについてだけ根拠を聞くのではなく、それぞれの回答に根拠はあると思うので、それぞれの回答について根拠を聞いてみてはいかがですかというのが、ご質問だと思います。</p>
○石川委員	<p>単純に、問 5 で答えた理由を書くというだけでいいのかなと。「高い」というハードルをあえて付けなくてもいいのかなと思います。何か狙いがあるって付けているのであれば、それはそれで構わないと思うんですけど。</p>

○事務局	もう一度この理由について再度考えて、必要であれば変更させていただきますと思います。
○会長	ご検討いただくということで。他にご質問やご意見はございますか。
○小杉委員	これは、あくまでも将来の方針を示唆するためのアンケートではないかと。広域化や料金に関する内容は、将来を示唆する内容だとは思いますが、単なるアンケートとして、「民営化についてどう思うか」といった設問があってもいいのかなと思いました。問10なのですが、「民営化について」聞いてみてもいいのかなと考えました。
○会長	「V. 将来の水道事業について」の間の中の項目のひとつとして、民営化を入れてはどうかというご提案、ということでしょうか。
○小杉委員	「民営化についてどう思うか」という設問は、問10ではないかもしれませんが、「V. 将来の水道事業について」に関する設問の中に、入れてみてもいいのかなと考えました。
○会長	問12に「民営化についてどう思うか」という設問を入れてはどうかということでしょうか。
○小杉委員	問10、問11の間辺りに入れてはいかがでしょうか。
○会長	というご意見ですが、いかがでしょうか。
○事務局	ご意見ありがとうございます。確かに、私も読んでいて民営化の部分が抜けていたなと感じました。完全な民営化ではなく、官民連携という形で、任せられるところは民間に任せるといった動きがありますので、そういった観点から、問10の中に官民連携の要素を入れ込めるのではないかと考えています。そのため、「官民連携について」一項目追加するというご意見で、いかがでしょうか。
○会長	では、そういった形で入れていただければと思います。他に

○会長	ご意見はございますか。 それではアンケートについては以上とさせていただきます。
○伊藤委員	アンケートですが、今回会議で出た提案について、フィードバック的な形で10月の発送前に委員に確認してもらうことは可能でしょうか。
○事務局	どのようにしようかなと思っていたところです。多くの修正が出ましたので、ご足労をおかけしてしまうかもしれませんが、もう一度会を開かせていただけたらと、今ちょうど考えておりました。ただ、次回で内容が決まるのであればそれでも良いのですが、もし決まらない場合は、また会議を開くことになってしまいますので、まずは郵送で修正案をお送りして、ご意見のある方からの修正内容を取りまとめて、こちらで再度整理するという方法もあるかと思えます。そのうえで、また修正が出るようであれば、それを反映して、改めて皆さんにお送りする形はいかがでしょうか。
○横田委員	素案を作成して皆さんに送付し、ご意見のある方には「いつまでにご連絡ください」といった形で対応すれば、1回で済むのではないかと思います。そうすれば、スケジュール通りにアンケートを10月までに発送できますし、9月中に素案を出していただければ、都合が悪いというご意見がある方にはその時点でご連絡いただく形にできます。それで1回で済むのではないかと思いますので、いかがでしょうか。
○事務局	この会議でいただいたご意見をアンケートに反映させて、一旦送らせていただき、なるべく修正のない形で進めたいと考えております。まずは、そのような形で進めさせていただければと思います。
○会長	まずは、今日出た意見を反映して修正したものを案として改めて作成し、書面審査をします。
○事務局	はい。
○会長	書面審査の結果やフィードバックを踏まえて、そのまま微修

	<p>正を加えて確定版とするのか、あるいはもう一度会合を開くのか、その時点で判断する、というご説明でよろしいでしょうか。</p>
○事務局	<p>はい。状況を見ながらにはなりますが、一旦、修正したものを書面で確認という形でさせていただきます。</p>
○会長	<p>まずはご返答をいただき、再審査を行ったうえで、それに対するフィードバックをいただき、そこで事務局の方で改めて判断していただく、という流れでよろしいでしょうか。</p>
○事務局	<p>はい。よろしいでしょうか。</p>
○会長	<p>皆様もよろしいでしょうか。</p>
	<p>※「はい」の声あり</p>
○会長	<p>では、そのような形にさせていただきます。貴重なご意見たくさんいただき、ありがとうございます。それではアンケートの素案についてはここで終了とさせていただきます。続きまして、今後のスケジュールについてお願いします。</p>
○事務局	<p>こちらの「1枚紙スケジュール表(予定)」をご確認ください。こちらはお手元用の資料であり、第2期上里町水道ビジョン策定に向けたスケジュールのご説明となります。上から順にご説明致します。まず、本日令和7年8月6日に開催されました第1回審議会が、黒丸で表示されております。続いて、先ほどご提案がありました通り、本日のアンケートにつきましては、書面による校正等を行ったうえで、現在の予定では10月～11月に校正後のアンケートを発送・回収する予定です。12月から翌年2月にかけては、アンケートの集計・分析期間となっております。ここまでの令和7年度の予定です。なお、記載はございませんが、令和8年度審議会に向けて第2期水道ビジョンの骨子作成期間がありまして、令和8年6月には第2回審議会を開催し、アンケート結果の報告および水道ビジョンの骨子となる内容についての審議を予定しております。続いて、9月には第3回審議会を開催し、水道ビジョンの素案について審議を行います。これまでの計3回の審議会を経て作成された素案につきましては、広く意見を募集するため、11月にパブリックコメント</p>

	<p>を実施致します。続いて令和9年1月には、パブリックコメントを踏まえた最終案を作成し、本日町から諮問をいただいた方針について審議を行います。審議会は計4回の開催を予定しており、その後、第2期水道ビジョンの策定に向けて、会長及び副会長により町へ答申し、町議会の3月定例会に提出する予定です。なお、アンケートの校正等により、今後スケジュールが多少前後する可能性もございますが、現時点での予定は以上となります。よろしくお願い致します。</p>
○会長	<p>ただ今のご説明を踏まえまして、委員の皆様からご意見・ご質問をいただければと思います。いかがでしょうか。先ほどの議論にもありました通り、書面審査を経て若干の修正が入る可能性があります。よろしいでしょうか。</p>
○会長	<p>それでは、スケジュールにつきましては、ただ今ご説明いただいた内容で終了とさせていただきます。</p> <p>最後にその他全般的にご意見、ご質問がございましたら、頂戴したいと思います。いかがでしょうか。</p>
○会長	<p>よろしいでしょうか。事務局の方から、何かございますか。</p>
○事務局	<p>特にはございません。</p>
○会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本日の日程はすべて終了とさせていただきます。これもちまして、私は会長の役目を終えさせていただきます。ご協力いただきありがとうございました。大変貴重なご意見を多数いただき、助かりました。ありがとうございます。</p>
8 閉会	
○事務局	<p>竹内会長ありがとうございました。</p> <p>最後に、閉会を木村副会長お願い致します。</p>
○副会長	<p>皆さまお疲れ様でございました。本日は皆さまに当たりましては長時間にわたり、慎重なる御審議お疲れ様でございました。おかげさまで、審議会も有意義な中、無事終えることができ、心から御礼申し上げる次第でございます。これを持ちまして令和7年度第1回上里町上下水道事業審議会を閉会とさせていただきます。お疲れ様でございました。</p>

	※閉会
--	-----

【午後 3 時 20 分閉会】

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 年 月 日

署名者の職・氏名

飯塚賢治

署名者の職・氏名

金子義則

